

作成日 : 2009年1月27日  
 改訂日 (V.2) : 2016年6月6日

# 製品安全データシート

## 1. 製品及び会社情報

製品名 : 芝用エコパートFL

会社名 : 株式会社ニチノ一緑化  
 住 所 : 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町 14 番 4 号 岡谷ビル  
 担当部門 : グリーン資材営業部  
 TEL. 03-3808-2281  
 FAX. 03-3808-2360

休日の連絡先 : 同上

用途および使用上の制限 : 芝用除草剤

MSDS番号 : 0003

## 2. 危険有害性の要約

GHS分類		
物理化学的危険性	引火性液体	区分外
	自然発火性液体	区分外
健康に対する有害性	急性毒性(経口)	区分外
	急性毒性(経皮)	区分外
	急性毒性(吸入: 粉塵、ミスト)	区分外
	皮膚腐食性・刺激性	区分外
	眼に対する重篤な損傷性・刺激性	区分外
	皮膚感作性	区分外
	生殖毒性	区分1B
環境に対する有害性	特定標的臓器毒性(単回暴露)	区分外
	特定標的臓器毒性(反復暴露)	区分1
	水生環境有害性(急性)	区分1
	水生環境有害性(慢性)	区分1

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

### GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ  
 長期にわたるまたは反復暴露による臓器の障害(中枢神経系、心臓、呼吸器)  
 水生生物に非常に強い毒性  
 長期的影響により水生生物に非常に強い毒性

注意書き

【予防策】

- 使用前に取扱い説明書を入手すること。
- 全ての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
- 個人用保護具や換気装置を使用し暴露を避けること。

- この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
- 取扱い後はよく手を洗うこと。
- ミストの吸入を避けること。
- 必要な時以外は環境への放出を避けること。
- 漏出物は回収すること。

**【対応】**

- 気分が悪いときは医師の診断を受けること。
- 暴露又は暴露の懸念がある場合：医師の診断を受けること。

**【保管】**

- 施錠して保管すること。

**【廃棄】**

- 内容物、容器を法、条例等に従って安全に処理する。または産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理する。

その他の危険有害性：特に無し。

### 3. 組成, 成分情報

単一製品・混合物の区分：混合物

有効成分化学名(一般名)：

エチル=2-クロロ-5-(4-クロロ-5-ジフルオロメトキシ-1-メチルピラゾール-3-イル)-4-フルオロフェノキシアセタート (一般名 ピラフルフェンエチル)

成分及び含有量：

成分	含有量	CAS No.	安衛法 No.	化審法 No.
ピラフルフェンエチル	2.0%	129630-19-9	—	—
〈その他〉				
エチレングリコール	5.0%	107-21-1	(2)-230	(2)-230
			安衛法通知対象物(2016年6月1日から安衛法表示・通知対象物)	
シリカ	0.6%	—	—	—
			安衛法通知対象物(2016年6月1日から安衛法表示・通知対象物)	
水、界面活性剤等	残	—	—	—

### 4. 応急措置

眼に入った場合：直ちに清浄な流水で15分以上洗浄する。眼球、眼瞼の隅々まで水がよく行きわたるように洗う。異常があれば医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合：汚染された着衣、靴等を速やかに脱がせ、付着部を多量の水と石鹼でよく洗浄する。異常が現れた場合には、医師の診断を受ける。

吸入した場合：被災者を速やかに空気の新鮮な場所に移す。異常が現れた場合には、医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合：カップ1～2杯の水を与え、医師の診断を受ける。意識の無い時には口から何も与えてはならない。

### 5. 火災時の措置

消火時の注意：消火活動には適切な保護具(自給式呼吸保護具等)を着用する。燃焼又は高温により有害ガスが発生することがあるので、ガス、蒸気、煙等の吸入を避ける。消火水が下水や河川に流れ込まないように適切な処置をとる。

消火剤：粉末、泡沫、炭酸ガス、霧状水

## 6. 漏出時の措置

付近の人を風上に避難させ、漏出現場への立ち入りを禁止する。適切な保護具(保護衣、保護メガネ、保護マスク等)を着用して、眼や皮膚に触れたり、ガスやミストを吸い込まないようにする。漏出物を土、砂等に吸収させ、密封できる容器に回収する。その後、汚染された場所を水で洗う。漏出物や洗浄水等が河川、下水等に流出し、環境へ影響を与えないように措置する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

**取扱い：** 局所排気装置を設置し、換気のよい場所で行う。適切な保護具を着用し、ガスやミストを吸い込んだり、眼、皮膚に触れないようにする。作業後は、すみやかに眼、手、顔を洗い、うがいをする。

**保管：** 換気のよい冷暗所に保管する。食物、飼料等と離し、無関係者、子供の手の届かないところに施錠して保管する。

## 8. 暴露防止及び保護措置

**設備対策：** 局所排気装置を設ける。取扱い作業場の近くに洗眼、洗面、うがい、安全シャワー設備を設置する。

**個人保護具：** 状況に応じた適切な保護具を着用する。  
保護マスク、保護メガネ、保護衣(長袖・長ズボン)、ゴム手袋

## 9. 物理的及び化学的性質

**外観：** 類白色水和性粘稠懸濁液体  
**比重：** 1.025±0.005 (20℃)  
**pH：** 6.0～8.0 (1%水懸濁液)  
**引火点：** 該当しない  
**自然発火性：** 常温の空気と接触しても自然発火しない。

## 10. 安定性及び反応性

**安定性：** 通常の条件下では安定。  
**危険な反応：** 知られていない。  
**有害な分解物：** 知られていない。

## 11. 有害性情報

**急性経口毒性：** ラット LD50 値 (mg/kg) ♂ >5,000 ♀ >5,000

**急性経皮毒性：** ラット LD50 値 (mg/kg) ♂ >2,000 ♀ >2,000

**急性吸入毒性：** 推定値 ATE<sub>mix</sub>=249mg/L/4h (毒性未知成分量 9.2%)

**皮膚刺激性：** ウサギ 陰性

**眼刺激性：** ウサギ 陰性

**皮膚感作性：** モルモット 陰性

**生殖毒性：** 区分1Bに分類されるエチレングリコールをカットオフ値 0.1%以上含有する。生殖毒性未知の成分は 4.5%。

**特定標的臓器毒性(単回暴露)**

経口投与試験及び経皮投与試験でガイダンス値の範囲内で死亡及び重篤な毒性がみられなかった。

**特定標的臓器毒性(反復暴露)**

区分1(中枢神経系、心臓、呼吸器)に分類されるエチレングリコールをカットオフ値 1.0%以上含有するため区分1(中枢神経系、心臓、呼吸器)とした。毒性未知成分量は 4.5%。

**1 2. 環境影響情報**

水生環境有害性(急性) : 区分 1  
 コイ LC<sub>50</sub> 値/96hr (mg/L) >500  
 オオミジンコ EC50 値/48hr (mg/L) >100  
 緑藻 ErC50 値/0-72hr (mg/L) 0.025  
 水生環境有害性(慢性) : 区分 1  
 急性毒性区分が 1 で、急速分解性が不明のため区分 1 とした。

**1 3. 廃棄上の注意**

法、条例等に従って安全に処理する。または廃棄物処理業者に委託して適切に処理する。  
 空容器 : 内容物を使いきった後、3 回以上洗浄し適切に処理する。洗浄液は河川、下水等水系に流さないようにする。

**1 4. 輸送上の注意**

容器に異常の無いことを確かめ、転倒、落下しないように積載する。

**1 5. 適用法令**

農薬取締法  
 毒物及び劇物取締法 : 毒物及び劇物に該当せず  
 労働安全衛生法  
 表示対象物(法 57 条、施行令第 18 条) :

表示対象物	2016. 5. 31 まで (改正法施行前)	2016. 6. 1 から (改正法施行後)
エチレングリコール	—	政令番号 75 (対象となる範囲 1%以上)
シリカ	—	政令番号 312 (対象となる範囲 0. 1%以上)

通知対象物(法 57 条の 2、施行令 18 条の 2) : エチレングリコール(政令番号 75)、シリカ(政令番号 312)

化学物質排出把握管理促進法(化管法)  
 指定化学物質 : 該当せず

**1 6. その他の情報**

本データシートの記載内容は、この製品の取扱い時の安全性に関する参考情報であり、安全性や品質の保証をなすものではありません。またヒトに対する危険、有害性の評価は、必ずしも充分ではありませんので、取扱いには充分注意を払って下さい。